

新潟県立大学 学術セミナー 「統計を学ぶ」

「国家の存するところに統計あり」(モーリス・ブロック)と古くからいわれるように、統計は社会の鏡であり羅針盤です。また、統計学は、現代社会の大規模データを利活用し、社会に新たな価値をもたらす学問領域「データサイエンス」の基礎となっています。

長年にわたり日本の統計学を担ってきた二大研究者・舟岡史雄氏・美添泰人氏が来学し、

- 「統計データの生成や利活用が時代とともにどのように変遷し今に至っているか」
- 「データサイエンスにおいて統計学がなぜ重要なのか」など、

私たちが統計を学ぶ上での原点となることを平易に講義します。皆さんが「私たちは、なぜ、どのように、統計を学ぶべきか」を考える上での貴重な機会となります。多くの学生の参加を期待します。

日時: 12月13日(水) 3時限 13:00~14:30

場所: 1313講義室(1号館A棟3F)

対面講義

プログラム: <開会・講師紹介> 13:00-13:05

座長:細谷 祐二 教授(国際経済学部長)

講義1

「統計の意義と役割」 13:05-13:45

講師:舟岡 史雄 先生(信州大学名誉教授、元統計委員会委員・統計審議会委員)

講義2

「現代社会における統計」 13:45-14:25

講師:美添 泰人 先生(青山学院大学名誉教授、元日本統計学会会長・同理事長、統計審議会会長)

<質疑> 14:25-14:30

<閉会> 14:30

<受講にあたって>

- ・申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。
- ・参加者把握のため、参加学生の出席をとります。
- ・講義後、簡単なアンケートにご協力ください。



舟岡 史雄(ふなおか ふみお) 氏 略歴

1976年 東京大学大学院経済学研究科
理論計量経済学専攻博士課程 単位取得退学
1981年 信州大学経済学部 助教授
1989年 同大学経済学部教授
1992-2000年 同大学評議員
1998-2000年 信州大学 経済学部長
2012年 信州大学 名誉教授
2012-2017年 (一財)日本統計協会専務理事
一橋大学経済研究所 客員教授、
経済企画庁経済研究所客員主任研究官など



美添 泰人(よしぞえ やすと) 氏 略歴

1975年 東京大学大学院経済学研究科博士課程修了
1978年 Harvard University,
Graduate School of Arts and Sciences 修了(Ph.D.)
1978年 立正大学経済学部 講師、助教授、教授
1992年 青山学院大学経済学部教授
1999-2002年 経済企画庁経済研究所 客員主任研究官
2015年 青山学院大学経営学部プロジェクト教授
2015年 青山学院大学名誉教授
2018年 一般社団法人新情報センター会長